

外務省監修
日本學術振興會編纂

條約改正關係日本外交文書 別冊

條約改正經過概要 附年表

日本國際連合協會發行

凡 例

一、本卷所載の條約改正經過概要は委員川島信太郎氏の執筆に成り、同氏述作の本邦條約改正史論の前編をなすものである。幕末明治外交年表は外務省囑託鬼塚正二氏の編輯にかゝる明治外交年表に、編者に於て幕末篇を追録せるものである。貴重な研究を提供せられたことに敬意と感謝を捧げる次第である。

二、條約改正經過概要は既刊條約改正關係大日本外交文書の索引を兼ねるものであつて、當該書冊收録の文書番號を註記した。

三、年表は明治五年までは舊曆により、括弧内に陽曆を示した。
6・6・3とあるは6年6月3日であつて(7・8)は陽曆7月8日である。尙(4)は閏4月である。

明治六年以後は凡て陽曆を用ひ、又「、、、、」は事後の繼續事

項を記述する。

四、條約改正は明治外交の大筋であり、近代日本の解放が斯くの如き外交の手段によつて平和裡に成功したことは、今後の平和日本の建設に大なる示唆を與へるものであることは疑ひない。

昭和二十一年六月十日

編 者 誌

條約改正
關 係 日本外交文書 別冊

條約改正經過概要目次

第一章 序說 安政諸條約締結の顛末	一
-------------------	---

第一節 概 說	一
---------	---

第二節 開國初期に於ける諸條約締結顛末	四
---------------------	---

第一款 米國との神奈川條約	四
---------------	---

米艦渡來始末・日米和親條約・和親條約附錄

第二款 英國との長崎條約	一三
--------------	----

英艦渡來・日英約定・約定副章

第三款 露西亞との下田條約	一七
---------------	----

改正概要目次

露艦渡来・日魯通好條約

第四款 和蘭との長崎條約

日蘭假取極書・日蘭和親條約

一一〇

第三節 安政諸條約の締結顛末

一二三

第一款 米國との下田、江戸兩條約

一二二

パリス來邦・下田假條約・下田假條約の改訂交渉・勅許奏請・井伊大老の就任・安政假條約・附屬貿易章程・新見豊前守渡米・批准書交換

第二款 和蘭との長崎、江戸兩條約

三六

日蘭追加條約・日蘭修好通商條約

第三款 露國との長崎、江戸兩條約

三八

日魯追加條約・日魯修好通商條約

第四款 英國との江戸條約

四一

日英修好通商條約

第五款 佛國との江戸條約

四三

日佛修好通商條約・安政諸條約と天津條約

第四節 江戸改稅約書締結顛末

四七

第一款 安政假條約調印後慶應改稅約書調印に至る間の幕府の對外交渉

四七

外國使臣の江戸駐劄・幕府の外交官制・開港當初の外國貿易・日葡、日普條約・開市開港延期問題・竹内下野守の渡歐・倫敦覺書・巴里覺書・日露、日蘭、日葡覺書・日米通商約定・横濱鎖港問題・池田筑後守の渡歐・巴里約定・東禪寺事件・生麥事件・下ノ關事件・下ノ關約定・江戸協定・幕府對策・條約勅許・改稅談判

第二款 江戸改稅約書の調印

七一

改稅約書調印・改稅約書・本邦貨幣制

第三款 江戸改稅約書締結後に於ける修正

七七

改稅約書の修正

第五節 安政五ヶ國條約以外の條約締結顛末

八二

葡、普、瑞西國・白、伊、丁抹國・日白條約・日伊條約・日丁條約・日瑞諸條約・日西條約・日獨逸北部聯邦條約・日埃洪條約

第二章 明治開國より岩倉大使歐米派遣に至る時代

九一

第一節 明治開國後岩倉大使歐米派遣前に於ける條約改正交渉

九一

主政復古と外交套襲・改正提議・改正準備・改正商議往復

第二節 岩倉大使歐米派遣

九九

使節派遣の議・使節任命

第三節 岩倉大使と各國との條約改正商議……………一〇六

米國に於ける交渉と兩副使の歸朝・使節調印權と正院評定・使節團集議・英國に於ける交渉・佛國に於ける交渉・歐洲巡歴・使節歸朝・遣韓使節問題

第四節 岩倉大使遣外中東京に於ける諸交渉……………一二七

外務當局の態度・内地旅行問題・内地開放問題・耶蘇教徒寬待問題・下ノ關償金問題・橫濱撤兵問題

第五節 布哇、清國及祕露との條約締結……………一三八

條約の基礎・日布條約・日清條約・日秘條約

第三章 寺島外務卿時代……………一五一

第一節 條約改正交渉開始と日米條約の成立……………一五一

寺島外務卿の就任と改正企劃・對米交渉開始・日米條約締結

第二節 歐洲諸國との條約改正交渉……………一五九

交渉開始・各國の態度・對伊交渉・阿片密輸事件と對英交渉

第三節 日鮮修好條規の締結……………一六九

日鮮關係沿革・寺島外務卿の對鮮政策・日鮮修好條規

第四章 井上外相條約改正經過……………一七八

第一節 明治十五年條約改正豫議會開催前の經過……………一七八

處理沿革・外人顧問の採用と世界公法學者探問・交渉開始・對英內談・對獨內談・東京豫議會開催に至る迄

第二節 井上條約改正豫議會の經過……………一八八

外務卿上申・豫議會經過・裁判管轄權問題論議・内地開放論議と開放細目案・協定輸入税目案・税目案作成専門委員會・其他協議事項

第三節 明治十九年井上條約改正會議に至る經過……………二〇〇

英政府の回章・獨逸の斡旋・佛國の態度・英政府の第二回章・英國覺書・井上卿覺書・佛國の提議・伊、西國提議・改正會議通告

第四節 明治十九、二十年條約改正會議經過……………二一〇

改正會議の構成・改正案提議・英獨合案裁判管轄權條約案・改正反對論・善後策・會議無期延期・通商航海條約案税目案審議・法典編纂・歐化政策

第五章 大隈外務大臣時代

第一節 概 説

第一款 處理沿革

大隈外務大臣就任・談判の方針・各國の態度・國內情勢・改正中止

二二八

第二款 大隈改正條約案の要旨

大隈改正條約案の眼目・大隈條約案・和親通商航海條約案・附屬協定輸入税目案・法典編纂・外人判事任用外交文書案

二三四

第二節 墨國との新條約締結顛末

締約提議・大隈草案・日墨條約・英佛の要求と大隈回答

二四九

第三節 各國との條約改正交渉顛末

第一款 對米交渉

對米提議・米國の承諾・改正實施延期提議

二五四

第二款 對獨交渉

改正提議・準備協議・獨逸の修正・大隈覺書・英國の同文通牒・日獨條約調印・公文修正問題

二六〇

第三款 對露交渉

二七〇

改正交渉・日露條約・改正延期・

第四款 對英交渉

二七四

交渉提議・英政府回答・大隈答辯・英政府の同文通牒・英國對案・對案討議・締約國通商關係統計表

第五款 對佛交渉

二八五

第六款 對奧洪交渉

二八九

第七款 對伊交渉

二九〇

第四節 大隈條約改正の蹉跎及其の善後策

二九一

憲法違反説・大隈辯駁・賛否論議・廟議の推移・首相の更迭と改正中止・將來の外交政略・意見書撮要

第六章 青木、榎本兩外務大臣時代

三〇三

第一節 青木條約改正交渉經過

三〇三

三條内閣及山縣内閣・青木覺書・大隈案の修正説明書・交渉提議・英政府覆案・諸法典公布・改正論議・青木外相辭任

第二節 青木條約改正案の内容	三一五
----------------	-----

青木改正案・英政府訓令書・英政府覆案・青木對案内容

第三節 榎本外務大臣の改正處理	三二八
-----------------	-----

條約改正に關する斷案・外相邸内談・條約改正調査委員會・寺島改正案・伊藤意見書・井上毅意見書・デニソン意見書・内政事情

第四節 青木、榎本兩條約改正と帝國議會との關係	三四二
-------------------------	-----

第一款 條約改正と第一議會	三四二
---------------	-----

國會開設・第一議會・諸法典公布・商法實施延期法案・法典審查委員會設置建議案

第二款 條約改正と第二、第三議會	三四八
------------------	-----

第二議會・第三議會・法典實施延期法案・國際法學會・海關稅問題

第七章 陸奧外務大臣時代

第一節 概 説	三五五
---------	-----

第一款 處理沿革	三五五
----------	-----

陸奧條約案の特質・改正方針

第二款 陸奧條約改正と第四議會	三六〇
-----------------	-----

陸奧外務大臣就任・對議會處理・第四議會

第三款 陸奧條約改正案の決定	三六四
----------------	-----

改正案の決定・改正案の内容

第四款 協定稅目案の修正	三六九
--------------	-----

稅目案修正・協定稅目表

第二節 對英交渉	三七五
----------	-----

第一款 豫備交渉	三七五
----------	-----

豫備交渉と青木建議・陸奧回訓

第二款 正式交渉開始及其の頓挫	三七八
-----------------	-----

正式提議と陸奧訓令・國內政情

第三款 對英交渉と議會關係	三八一
---------------	-----

第五議會と條約勵行建議案・陸奧外務大臣議會演說・第六議會・國權回復目的の諸法案・第七、第八議會

第四款 交渉の再開	三八八
-----------	-----

英國の態度・陸奧フレーザー應酬・青木ベイティ談判

第五款 交渉の結了	三九四
-----------	-----

條約調印・附屬稅目問題・植民地加入問題

第三節 對米交渉

三九九

第一款 豫備交渉

三九九

陸奥訓令・意向打診・陸奥要領書・移民の問題・移民特約案

第二款 交渉終了

四〇五

栗野公使赴任・修正討議・條約調印と批准の問題

第四節 對伊交渉

四一一

交渉提議・伊國對案・陸奥回答・調印と批准・協定稅率設定の交渉

第五節 對露交渉

四二〇

對露提議・露國對案・陸奥回訓・約案の修正

第六節 對獨交渉

四二七

第一款 豫備交渉

四二七

交渉開始・獨逸公使の質問要項・陸奥説明書

第二款 一般諸問題に關する交渉

四三一

獨政府覺書・交渉澁滞・逐條審議・青木公使覺書

第三款 稅目協定

四四三

協定要求・西園寺回訓・再度交渉

第四款 領事職務條約の調印

四四七

領事職務條約の交渉

第五款 日獨條約調印後に於ける條約修正問題

四四八

工業所有權保護の問題・批准遷延

第七節 對佛交渉

四五二

第一款 一般事項に關する交渉

四五二

交渉提議・佛國對案・佛國修正對案・日佛條約

第二款 關稅問題に關する交渉

四六〇

協定要求・曾瀨請訓と陸奥訓令・關稅差別課稅の問題・佛國要求協定稅品表

第八節 對奧洪交渉

四七三

奧國の態度・奧國對案・大隈妥協案・追加約款案・關稅定率法・奧國要求協定稅品表

第九節 殘餘諸國との條約改正交渉

四八六

第一款 對秘露交渉

四八六

改正提議・批准交換

第二款 對丁抹交渉

四八九

改正概要目次

一一

改正條約

第三款 對瑞典・諾威交涉

四九一

改正條約

第四款 對白耳義交涉

四九二

改正條約

第五款 對和蘭交涉

四九四

改正條約・領事職務條約の調印

第六款 對瑞西交涉

四九五

交渉提議・協定要求

第七款 對西班牙交涉

五〇三

改正條約・特別條約

第八款 對葡萄牙交涉

五〇六

領事裁判權撤廢問題・條約改正交渉

第九款 對布哇交涉

五一五

領事裁判權撤廢問題・條約消滅

第十節 陸奧外相時代に於ける新條約締結

五一二

第一款 概 説

五二一

第二款 新約交渉經過

五二二

對伯刺西爾條約・對智利條約・對亞爾然丁條約・對希臘條約・對清國條約・對暹羅條約

第八章 陸奧改正條約の實施

五三九

第一節 概 説

五三九

實施期日・諸法典公布・實施準備

第二節 改正條約に伴ふ義務の履行

五四五

重要諸法典の實施・條約規定に基く外國人に對する諸物權の確保・外國人に對する永代借地權の尊重・外國人に對する工業所有權及版權の保護・特別輸出入港の廢止

第三節 改正條約に伴ふ權利の實行

五五五

關稅定率法關稅法噸稅法等の實施・貨幣法の實施・國籍法船舶法領事官の職務に關する法律等の制定・條約又は慣行により住居の自由を有せざる國民に對する勅令の公布

第九章 條約改正經過概要後記

五六四

第一節 改正陸奥條約の性質

五六四

第二節 改正小村條約の性質

五六五

第三節 永代借地權の解消

五六七

第四節 外國人士所有法の改正

五六九

第五節 移民問題に關する交渉

五七〇

第六節 日獨、日英協定稅率の廢止

五七二

第七節 戰後條約改正方針の決定

五七三

第八節 結 言

五七四

條約改正經過概要

第一章 序說 安政諸條約締結の顛末

第一節 概 說

條約改正事業 本邦に於ける條約改正とは嘉永七年乃至明治二年（一八五四年乃至一八六九年）の間に於て米・英・露・蘭・佛・葡・獨逸・瑞西・白耳義・伊太利・丁抹・瑞典・西班牙及奧地利・匈牙利と締結の諸條約中に規定せる治外法權の撤廢、並に慶應二年（一八六六年）英・米・佛・蘭四國と締結した江戸改稅約書による片務的關稅協定を廢棄し、以て泰西諸國と同様獨立自主の國家として、本邦在留外國人出入外國船舶及輸出入貨物に對し、其の領土主權に基き行政權・裁判權及關稅自主權を行使し得べき様の改訂を企圖し、懸命努力の結果終に明治三十二年の改正條約實施により一應成功するに至つた迄の記録である。換言すれば十九世紀初葉以降、泰西諸國と法制習慣を異にせる土耳其・埃及・モロッコ・チュニス・波斯・支那・暹羅・朝鮮等の亞細亞・阿弗利加諸國が英・米・露・佛を主班とする泰西基督教諸國の爲め其の獨立主權の上に大なる桎梏を蒙つた。その同じ桎梏より如何にして先づ日本が解放せ